

豊かな海をつくるためには、海の中だけでなく、海岸の清掃活動や赤土などの流出防止活動も幅広く行っていくことも重要です。来年の大会に向けて、次世代を担う子供たちが海に親しみ、海への関心

美ら海おきなわ大会の基本方針

- ① 水産業を活気づける美ら海づくり
- ② 未来に残す美ら海づくり
- ③ 美ら海と共生する次世代の人づくり
- ④ 「美ら海の恵み」魅力発信
- ⑤ 「東日本大震災」の復興支援への協力

「美ら海おきなわ大会」において、この温暖できれいな海で育まれてきた、個性豊かな沖縄の水産業と水産物の魅力を全国に発信するため、五つの基本方針を策定しました。

「美ら海おきなわ大会」の特徴

平成二十四年の「美ら海おきなわ大会」は、我が国で唯一の熱帯性のサンゴ礁海域において開催される初めての大会です。

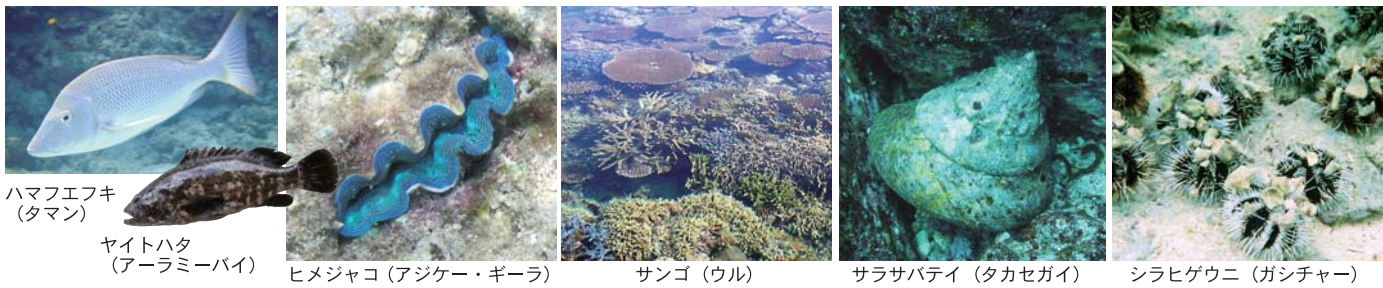
「美ら海おきなわ大会」において、この温暖できれいな海で育まれてきた、個性豊かな沖縄の水産業と水産物の魅力を全国に発信するため、五つの基本方針を策定しました。

大会テーマ「まもろうよ きせきのほしの あおいうみ」

大会テーマには浦添小学校六年生 梁雄晃くんの作品「まもろうよ きせきのほしの あおいうみ」。大会キャラクターには豊見城市の糸永 泰子さんの作品「アバサンゴ」が、大会テーマ五〇点、大会キャラクター一九四〇点の応募作品の中から選ばれました。

稚魚や稚貝を放流します

「美ら海おきなわ大会」では、稚魚や稚貝などの放流も行います。放流するのは、ハマフエフキ(方言名:タマン)、ヤイトハタ(同:アーラミーバイ)、ヒメジャコ(同:アジケー・ギーラ)、サンゴ(同:ウル)、サラサバテイ(同:タカセガイ)、シラヒゲウニ(同:ガシチャー)を予定しています。



みなさんは、「全国豊かな海づくり大会」を知っていますか？ 沖縄県は、周囲を海に囲まれ、豊かな好漁場に恵まれていることから、古くから漁業が盛んに行われてきました。また、島々の周囲に発達した美しいサンゴ礁は、海の恵みを育むだけでなく、自然の防波堤として私たちの暮らしを守っています。

このように豊かで美しい沖縄の海を守っていくことを目的として、平成二十四年に開催される「第三十二回全国豊かな海づくり大会」美ら海おきなわ大会について紹介します。

大会の行事としては、例年、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、豊かな海づくりのために功績のあった団体の表彰や漁業後継者による決意表明、大会決議などを行う「式典行

来年の「美ら海おきなわ大会」は、海人(漁師)のまちとして知られ、水産業が盛んな糸満市において開催されます。

この大会は、水産業の振興を図るとともに、水産資源の維持培養と海の環境保全の大切さを広く国民に訴えることを目的として、昭和五十六年から全国各地を巡りながら開催されている国民的行事です。

事、漁船などによるパレードを行うとともに、海への感謝の心を養い、次世代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いを込めて稚魚の放流を行う「海上歓迎・放流行事」、沖縄の海や水産業、海の環境保全に関する活動などを展示するとともに、沖縄の豊かな自然がもたらす水産物などの特産品の試食販売、伝統文化の紹介などをおして、県内外の参加者に沖縄の魅力を発信する「関連行事」があります。

岐阜県提供

「1年前プレイベント」を開催します

来年の「美ら海おきなわ大会」の開催を記念し、1年前プレイベントとして11月12日(土)、13日(日)の2日間、糸満市にある沖縄県水産公社(糸満漁港北地区内)において、「おきなわ豊かな海づくりフェスタ2011 in 糸満」を開催します。

このイベントでは、大会旗や大会テーマ・キャラクターのお披露目、記念放流などのほかに、水産業や海の環境保全に関する企画展示、鮮魚や水産加工品などの試食販売、お魚つかみ取りやマグロ解体ショー、県の調査船の一般公開など、盛りだくさんのイベントを行います。

お問い合わせ 県全国豊かな海づくり大会推進室 TEL:098-866-2952 FAX:098-866-2679